

予算特別委員会

3月4日の本会議において、予算審査の重要性にかんがみ、議員全員による予算特別委員会を設置。令和6年度一般会計予算をはじめ、3つの特別会計予算、下水道事業会計予算が付託され、11日・12日・14日の3日間にわたり審査が行われました。審査の結果は、一般会計予算及び特別会計予算は賛成多数で、下水道事業会計予算は全員一致で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと議決されました。

市長の提案説明による主要な施策

『危機対応能力が高く 良好な生活環境で暮らせる 安全安心なまち』

非常用品の計画的な備蓄に加え、トイレ用テントや非常用トイレセットなどの避難所備品類の充実を図るほか、自主防災組織を引き続き支援するとともに、防災情報伝達システムを活用し、地域における防災力の向上に努めていきます。また、地域における防犯対策として、行政区が設置する防犯カメラの設置費用を補助し、安全安心なまちづくりを推進していきます。さらに、電気自動車充電システムの設置費用を補助するなど、たてばやし5つのゼロ宣言に基づく施策を推進していきます。

『地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち』

高校生世代までの医療費無料化を引き続き実施し、子育て支援を推進するほか、生活困窮者自立支援事業を実施し、生活に困窮されている方に対し、早期の自立促進を図るとともに、支えあう地域づくりを推進していきます。また、緊急通報装置の設置や介護慰労金の支給を引き続き実施し、高齢者の在宅生活を支援していきます。さらに、50歳以上の方を対象とした带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成するなど、予防接種事業の推進に努めていきます。

『育てる幸せを感じ 生涯にわたり互いに学び続ける 家庭と文化を築くまち』

南こども園の新築工事を実施し、引き続き認定こども園化を推進するほか、妊婦初産科受診料を助成し、妊婦の状況を早期に把握し必要な支援につなげるとともに、妊娠・出産包括支援事業において、子育て支援誕生祝品の給付や産後ケア事業の利用料を無料化するなど、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進していきます。また、新たに中学3年生の学校給食費を無料化するとともに、学校給食の食材費高騰に対応するため、1食当たり30円分を補填するなど、子育て世帯の経済的支援及び少子化対策に努めます。また、ダノン城沼アリーナの空調設備等改修工事、エレベーター設置工事の設計などを実施し、公共施設の整備を推進していきます。さらに、日本遺産推進事業において、引き続き「里沼」を生かした体感型の事業を展開するほか、来訪者の満足度向上と回遊性強化を図るため、「里沼」来訪者数を調査・検証するなど、シビックプライドの醸成、ブランド力向上及び交流・定住人口の増加を図っていきます。

『都市と自然が調和し 人と産業が躍動する 魅力あるまち』

企業誘致と市内企業の活性化による税収、定住人口の増加を図るため、引き続き産業団地等の整備に取り組むほか、ほ場整備による農地の大区画化、担い手への集積・集約化を図るため、地域の農業者や関係機関との連携・協議を推進していきます。また、Uターン支援奨励金及び定住新卒就職者奨励金において、奨学金の返還金の一部補助を追加し、若者の市内企業への就職を促進するほか、企業紹介ガイドブックを作成し、雇用の確保と安定、及び定住促進に努めていきます。また、デジタル地域通貨発行事業において、登録店紹介キャンペーンを実施し、利用者の利便性の向上と地域経済の活性化を図るほか、小規模事業者経営改善資金利子補給金を創設し、中小企業等の経営の安定化を支援していきます。さらに、市内生活路線である（仮称）渡瀬東西線を整備し、地域公共交通計画に基づくまちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの再構築を推進するほか、都市再生整備計画に基づいた太陽の園改修工事や、官民連携によるエリアプラットフォームを構築し、まちなかににぎわいと活性化を図り、ウォーカブルなまちづくりに取り組むとともに、まちづくりマネジメント法人へ運営費を補助し、官民連携による公的不動産を活用した市街地推進に努めていきます。

『公民連携を推進し 地域経営の視点を持つ 持続可能なまち』

市制施行70周年を記念して、記念式典をはじめ、向井千秋記念子ども科学館特別企画事業などの記念事業を実施します。また、移住定住ウェルカム支援金を創設するとともに、わくわく地方生活実現支援金や市有地活用移住定住支援金、定住促進通学支援金、館林ライフスタートアップ支援金を引き続き支給し、移住定住の促進を図っていきます。また、ふるさと納税制度を活用し、自主財源の確保に努めるとともに、本市の特産品を返礼することにより地域振興を図っていきます。さらに、書かない窓口システムの導入と庁舎1階の窓口レイアウトを変更し、全ての市民にとって簡単・便利・親切的な窓口サービスの提供に取り組むほか、高齢者などを対象としたスマートフォン教室を引き続き実施し、デジタル機器・サービスの活用を支援するとともに、公式LINEなどによる申請手続や情報発信の充実を図るなど、デジタル化による行政サービスの向上に努めていきます。

令和6年度一般会計予算

歳 入			歳 出		
項 目	予算額(千円)	構成比(%)	項 目	予算額(千円)	構成比(%)
市 税	11,483,845	37.2	総 務 費	2,689,747	8.7
地方交付税	3,230,000	10.5	民 生 費	11,293,355	36.6
国庫支出金	4,272,091	13.8	衛 生 費	4,060,796	13.2
県 支 出 金	2,074,763	6.7	商 工 費	1,796,024	5.8
繰 入 金	2,733,784	8.9	土 木 費	3,473,010	11.3
諸 収 入	1,629,130	5.3	教 育 費	3,559,359	11.5
市 債	1,822,800	5.9	公 債 費	2,222,969	7.2
そ の 他	3,603,587	11.7	そ の 他	1,754,740	5.7
計	30,850,000	100.0	計	30,850,000	100.0

一般会計予算は
3年連続で過去最大となる
総額308億5000万円

令和6年度特別会計予算

会 計 別	予算額(千円)	
国民健康保険特別会計	8,039,273	
介護保険特別会計	6,951,427	
後期高齢者医療特別会計	1,285,240	
下水道事業会計	収益的支出	1,525,127
	資本的支出	1,124,858